

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	倉敷市立短期大学
設置者名	倉敷市

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	保育学科	夜・通信		3	20	23	7	
	服飾美術学科	夜・通信			8	11	7	
	専攻科保育臨床専攻	夜・通信		4	9	13	7	
	専攻科服飾美術専攻	夜・通信			7	11	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/syllabus/78-2013-11-15-07-55-20/213-h31jitumu">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/syllabus/78-2013-11-15-07-55-20/213-h31jitumu</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) なし

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	倉敷市立短期大学
設置者名	倉敷市

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	外部アドバイザー委員会
役割	<p>本学の教育活動の編成，研究活動，地域貢献活動等運営に関する事項について協議及び評価し，評価結果や意見を学校運営に反映させるため，教職員の管理職の協議の場である企画運営協議会に提言する。</p> <p>提言内容を同協議会において協議し，必要に応じて学内各委員会に付議した後，教授会において構成員の意見を聴いたうえ，学長が決定する。</p> <p>活動履歴 <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/gaibu">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/gaibu</a></p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
児島商工会議所 会頭	2019.4.1 ~ 2021.3.31	
倉敷外語学院	2018.4.1 ~ 2020.3.31	元ファッションタウン児島推進協議会 理事
岡山大学資源植物科学研究所 教授	2019.4.1 ~ 2021.3.31	
倉敷市立倉敷翔南高等学校 校長	2019.4.1 ~ 2021.3.31	
山陽新聞社 児島支局長	2019.4.1 ~ 2021.3.31	
山陽学園大学 山陽学園短期大学 教授	2018.4.1 ~ 2020.3.31	
くらしき作陽大学 作陽音楽短期大学 特任教授	2018.4.1 ~ 2020.3.31	倉敷市立短期大学 前学長
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	倉敷市立短期大学
設置者名	倉敷市

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本科では基礎科目と専門科目、専攻科では関連科目と専門科目によって授業科目を構成している。授業は、学習内容に合わせて、講義、演習、実験、実習、見学など複数の教授方法を用いて行っている。</p> <p>授業計画書(シラバス)には、授業の主題・目標、授業の内容・進め方、実務経験を活かす内容、テキスト・教材、準備学習の具体的な方法、評価の方法・基準、履修上の注意などの項目を統一して設け、各授業担当教員は、全ての項目に記載する(実務経験を活かす内容については該当する教員のみ)。</p> <p>各科目担当教員は、授業計画書(シラバス)を作成する際、前年度の内容を確認するとともに、授業評価における課題を反映し、新年度の授業計画書(シラバス)として作成している。本学では、非常勤講師を含む全教員の全授業を対象として、授業評価調査票を実施し、授業に対する学生の評価を測定している。各授業の評価結果(倉敷市情報政策課による電算処理後、担当教員に返却される。)に基づいて、全教員が担当授業の改善の方針や具体的方法を記載する自己点検レポートを作成し、授業の改善を図っている。提出された授業計画書(シラバス)の原稿は、学生部で確認され、修正が必要な場合は、担当教員に修正を依頼する。</p> <p>授業計画書(シラバス)は、11月末に学生部より各科目担当教員に作成の依頼がされる。授業計画書(シラバス)は、冊子として3月中頃に完成する。</p> <p>授業計画書(シラバス)は、年度当初のオリエンテーションにおいて全学生に冊子として配付され、学生は授業計画書(シラバス)を確認した上で授業を選択することができる。外部への情報公開として、大学ホームページに掲載されている。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/syllabus">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/syllabus</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価方法や評価基準は「倉敷市立短期大学学則」に定めており、厳格に運用している。この学則は、学生便覧に記載され、学生に明示している。成績評価の方法は、試験成績・レポート・作品・論文・プレゼンテーション・出席の状況により総合的に評価する。また、授業計画書(シラバス)にも、科目ごとに評価の方法・基準の項目を設け、具体的な成績評価を明示している。</p> <p>成績の分類と評価基準は、履修した科目の60点以上を合格点として、その科目の単位を与える。また、評価と得点は次のとおりである。A(100点～80点)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、D(59点以下)。</p> <p>単位認定制度に基づく単位認定の適切性については、本学では、短期大学設置基準第7条に基づき、学則第16条において次のとおり定めている。1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容をもって構成されることを標準としており、この場合において、授業の方法に応じて1単位当たりの授業時間を次のとおり定めている。(1)講義は、15時間の授業をもって1単位とする。(2)演習は、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定めるものについては、15時間の授業をもって1単位とすることができる。(3)実験、実習及び実技は、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定めるものについては、30時間の授業をもって1単位とすることができる。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAの算出方法は次の通りである。A～Dの評価に対して、グレードポイントがそれぞれ充てられる。グレードポイントは、A(100点～80点)＝3ポイント、B(79点～70点)＝2ポイント、C(69点～60点)＝1ポイント、D(59点以下)＝0ポイントである。</p> <p><math>(3 \text{ポイント} \times \text{Aの修得単位数} + 2 \text{ポイント} \times \text{Bの修得単位数} + 1 \text{ポイント} \times \text{Cの修得単位数}) \div \text{総履修登録単位数}</math>で算出される。総履修登録単位数には、D評価の修得単位数を含んでいる。</p> <p>学生全員分のGPAが算出され、学科ごとに、上位から下位までを表で確認することができる。</p> <p>GPAの算出は、前期は9月、後期は2月に行われている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/seiseki">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/seiseki</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定に関する方針及び公表については、本科、専攻科のディプロマ・ポリシーを定め、ホームページで公開している。

本科ディプロマ・ポリシー

短期大学士の学位は、本学に2年以上在学し、学則に定める所定の授業科目を履修して、基準となる単位数を取得して本学を卒業する者に授与する。主に全学共通の基礎科目を通じて行われた教養教育と、各学科の専門性・特性に応じて編成された専門教育をともに修得し、地域社会に寄与し得る教養豊かな社会人として、豊かな人間性と創造力を備え、幅広い教養と実践的な専門性を身につけていることが必要である。

保育学科では、大学の教育理念や学科の教育目的に基づき、次のような能力を修得し、かつ所定の単位を取得した学生に「短期大学士(教育学)」を授与する。(1) 知識・理解 保育の基礎的理論を理解し、高い倫理観を備えた専門職業人として保育実践に臨むことができる。(2) 汎用的技能 保育に関わる職業生活や社会生活において、他者と交流して学び合い、主体的に問題を発見し、解決する力を備えている。(3) 態度・志向性 保育に強い関心や探究心を抱き、あたたかい献身の心と責任感により、地域社会への支援に惜しみなく取り組む姿勢を備えている。(4) 創造的思考力 保育課題を子どもや自身の成長の機会と捉え、実習、ボランティア活動等の社会経験で養われた力により、主体的・創造的に課題を解決することができる。

服飾美術学科は、学科の教育目標に基づき、ファッション・ビジネス・造形デザインといった3つの基礎教育に関する基礎的な理論および実技を身につけ、所定の単位を取得した学生に短期大学士(服飾美術学)を授与する。次の能力を修得することが求められる。ファッション(繊維・アパレルの知識、機能的な服飾デザイン、パターンメイキング・縫製、スタイリング・コーディネート)、ビジネス(情報処理能力、マーケティングの活用力、地域産業との連携、フィールドワーク能力)、造形デザイン(デザイン・アートの知識と発想力、グラフィック系ソフトのスキル、手作業による表現力・技術力、地域をフィールドとしたアートプロジェクト力)。

専攻科ディプロマ・ポリシー

学士の学位は、専攻科に2年以上在学し、学則に定める所定の授業科目を履修して、基準となる単位数を取得して本学専攻科を修了した者が、大学評価学位授与機構の審査に合格することによって授与される。

保育臨床専攻では、大学の教育理念や専攻科の教育目的に基づき、次のような能力を修得し、かつ所定の単位を取得した学生に「学士(教育学)」を授与する。(1) 知識・理解 保育の理論および保育臨床技術を修得し、子どもの最善の利益と地域の子育て支援にあたることができる。(2) 汎用的技能 保育に関わる職業生活や社会生活において、必要な情報を収集・整理し相互に関連づけながら、自分の考えを適切に表現できる。(3) 態度・志向性 保育者として、子どもと子育てにやさしい社会づくりの責務を理解し、地域社会においてグローバルな視点に立ち、リーダーシップを発揮することができる。(4) 創造的思考力 保育に関する専門的知識と保育臨床技術等を総合的に活用し、主体的、創造的に問題を解決することができる。

服飾美術専攻は2年制の専攻科である。大学改革支援・学位授与機構に学位申請を行い、試験に合格することで学士号(家政学)を得ることができる。デザインを機軸にして物事を考え、学びを地域社会および産業に活かす能力を身につけることができる。

各学科および専攻科において、2年以上在学し、所定の単位数を修得した学生に卒業を認定する。保育学科については75単位以上、服飾美術学科、専攻科保育臨床専攻、専攻科服飾美術専攻については、62単位以上を修得しなければならない。卒業及び修了を認定された学生は、「倉敷市立短期大学学則」、「倉敷市立短期大学学位規程」に基づき、短期大学士の学位を授与する。専攻科保育臨床専攻においては、大学改革支援・学位授与機構「学位規則第6条第1項の規定に基づく学士の学位の授与に係る特例に関する規則」に準じて学士(教育学)を授与する。専攻科服飾美術専攻においては、大学改革支援・学位授与機構「学位規則第6条第1項の規定に基づく学士の学位の授与に関する規則」に準じて学士(服飾美術学)を授与する。

卒業認定の制度は、学生便覧に記載し学生に公表している。卒業認定は、本学学則第 20 条及び 21 条（本科）と本学学則第 47 条（専攻科）に基づき、行っている。本科の学位授与については、本学学位規程に定めている。学位授与は、学生部が科目担当教員の提出した成績評価をまとめ成績一覧表を作成し、学科会議、企画運営協議会、教授会の意見を聴いた上で学長が決定する。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/diploma-policy>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	倉敷市立短期大学
設置者名	倉敷市

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/hyouka/hyoukakekka.pdf">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/hyouka/hyoukakekka.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果

公表方法: <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/hyouka/ninsyoleft.pdf">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/hyouka/ninsyoleft.pdf</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保育学科
教育研究上の目的（公表方法： <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/rinen">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/rinen</a> ） （概要） 保育者としての資質，保育に関する専門的知識及び技能並びにそれらを適切かつ創造的に活用できる保育実践力を修得し，卒業後においても学び続ける意欲を持った保育者を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法： <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/diploma-policy">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/diploma-policy</a> ） （概要） 2年以上在学し，75単位以上を修得しなければならない。うち基礎科目を10単位以上，専門科目を65単位以上修得しなければならない。 本科ディプロマ・ポリシー 短期大学士の学位は，本学に2年以上在学し，学則に定める所定の授業科目を履修して，基準となる単位数を取得して本学を卒業する者に授与する。主に全学共通の基礎科目を通じて行われた教養教育と，各学科の専門性・特性に応じて編成された専門教育をともに修得し，地域社会に寄与し得る教養豊かな社会人として，豊かな人間性と創造力を備え，幅広い教養と実践的な専門性を身につけていることが必要である。 保育学科ディプロマ・ポリシー 保育学科では，大学の教育理念や学科の教育目的に基づき，次のような能力を修得し，かつ所定の単位を取得した学生に「短期大学士（教育学）」を授与する。（1）知識・理解 保育の基礎的理論を理解し，高い倫理観を備えた専門職業人として保育実践に臨むことができる。（2）汎用的技能 保育に関わる職業生活や社会生活において，他者と交流して学び合い，主体的に問題を発見し，解決する力を備えている。（3）態度・志向性 保育に強い関心や探究心を抱き，あたたかい献身の心と責任感により，地域社会への支援に惜しみなく取り組む姿勢を備えている。（4）創造的思考力 保育課題を子どもや自身の成長の機会と捉え，実習，ボランティア活動等の社会経験で養われた力により，主体的・創造的に課題を解決することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/gakusoku/310401_gakusoku.pdf">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/gakusoku/310401_gakusoku.pdf</a> 及び学生便覧） （概要） 授業科目は，基礎科目と専門科目に区分している。保育学科の教育課程の編成・実施方針は，（1）社会人としての基礎を養うための基礎科目を設置する。（2）保育の専門的知識及び技能を習得するための「保育の本質・目的」，「保育の対象理解」，「保育の内容・方法」，「保育の表現技術」に関する講義・演習科目を設置する。（3）保育の実践力を養うための保育実習，教職に関する実習科目を設置する。（4）総まとめ科目としての保育・教職実践演習及び総合演習を設置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/admission-policy">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/admission-policy</a> ）



<p>(概要)</p> <p>様々な入学者選抜の方法を採用することによって、多様な特性・能力をもつ学生が入学し、個々の特性・能力を活かしつつ、相互に影響し合い、学び合うことを求めている。つまり、基礎学力の側面を重視する選抜方法と、他方、保育者としての適性・能力を重視する選抜方法の両面から入学者の選抜を行い、多様な学生同士が保育者を目指して学び合い、育ちあうことを願っている。</p>
--

学部等名 服飾美術学科
-------------

教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/rinen">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/rinen</a> )
--

<p>(概要)</p> <p>芸術、デザイン及びファッションに関する基礎的な理論及び実技の修得を通じて、多様なメディア及びテクノロジーに対する理解力及び多角的な視点を養うことにより、学内外を学びの場としてとらえ、積極的に行動し、考えることのできる創造的かつ実践的なクリエーターを育成する。</p>
--

卒業の認定に関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/diploma-policy">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/diploma-policy</a> )
---

<p>(概要)</p> <p>2年以上在学し、62単位以上を修得しなければならない。うち基礎科目を10単位以上、専門科目を52単位以上修得しなければならない。</p> <p>本科ディプロマ・ポリシー</p> <p>短期大学士の学位は、本学に2年以上在学し、学則に定める所定の授業科目を履修して、基準となる単位数を取得して本学を卒業する者に授与する。主に全学共通の基礎科目を通じて行われた教養教育と、各学科の専門性・特性に応じて編成された専門教育をともに修得し、地域社会に寄与し得る教養豊かな社会人として、豊かな人間性と創造力を備え、幅広い教養と実践的な専門性を身につけていることが必要である。</p> <p>服飾美術学科ディプロマ・ポリシー</p> <p>服飾美術学科は、学科の教育目標に基づき、ファッション・ビジネス・造形デザインといった3つの基礎教育に関する基礎的な理論および実技を身につけ、所定の単位を取得した学生に短期大学士(服飾美術学)を授与する。次の能力を修得することが求められる。ファッション(繊維・アパレルの知識、機能的な服飾デザイン、パターンメイキング・縫製、スタイリング・コーディネート)、ビジネス(情報処理能力、マーケティングの活用力、地域産業との連携、フィールドワーク能力)、造形デザイン(デザイン・アートの知識と発想力、グラフィック系ソフトのスキル、手作業による表現力・技術力、地域をフィールドとしたアートプロジェクト力)。</p>
---

教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/gakusoku/310401_gakusoku.pdf">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/gakusoku/310401_gakusoku.pdf</a> 及び学生便覧)
---

<p>(概要)</p> <p>授業科目は、基礎科目と専門科目に区分している。服飾美術学科の教育課程の編成・実施方針は、ファッション・ビジネス・造形デザインといった3つの基礎教育をもとに、地域社会における職業人の育成の実現をめざし、2年間のカリキュラムを1年次と2年次において構成している。1年次では3つの基礎教育を多角的な視点から考察する。豊富な演習・実習と講義を通じて、必要不可欠な基礎的な知識・技術を習得する。個々人の適性を伸ばすトレーニングを膨らませ、本人が目標とする進路へ対応可能なスキルを磨いていく。2年次では、専門領域の研究を通じて洞察力と創造力を養う。それぞれの専門領域から所属する研究室(ゼミ)を選び、卒業研究(作品制作、論文作成)に取り組む。自分自身でしっかり物事を捉え考えられるように、教員と仲間とのコミュニケーションを繰り返しながら研究を深めていく。</p>
--

入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/admission-policy">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/admission-policy</a> )
---

<p>(概要)</p> <p>ファッション・ビジネス・造形デザイン領域に必要な基礎能力・応用力を学ぶことに意欲的であり、学内外を学びの場として捉えながら、積極的に行動し考えることのできる学生を求めている。幅広い人材を選抜するため、多様な入学試験がある。</p> <p>入学者に求める学生像は、次の通りである。(1) ファッション、ビジネス、造形デザイン領域の基礎学力を有する人、(2) 主体性、協働する力、コミュニケーションする力、積極性を身につけることに意欲のある人、(3) 地域社会や産業と関わりをもって活動することに関心のある人、(4) 知性と感性を伸ばすことに意欲のある人</p>
--

<p>学部等名 専攻科保育臨床専攻</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法 : <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/rinen">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/rinen</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>短期大学等での幼児教育及び保育に関する学修を基礎に、一人一人の学生の主体性及び個性を尊重した少人数体制における指導及び援助の下、保育者としての資質、保育及び子育て支援に関するより高度な専門知識及び技能並びにそれらを適切かつ創造的に活用できる保育臨床的実践力を修得し、修了後においても学び続ける意欲を持った子育て支援の専門家を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/diploma-policy">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/diploma-policy</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>学生は2年以上在学し、必修科目及び選択科目併せて62単位以上を修得しなければならない。</p> <p>専攻科ディプロマ・ポリシー</p> <p>学士の学位は、専攻科に2年以上在学し、学則に定める所定の授業科目を履修して、基準となる単位数を取得して本学専攻科を修了した者が、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格することによって授与される。</p> <p>保育臨床専攻ディプロマ・ポリシー</p> <p>保育臨床専攻では、大学の教育理念や専攻科の教育目的に基づき、次のような能力を修得し、かつ所定の単位を取得した学生に「学士(教育学)」を授与する。(1) 知識・理解 保育の理論および保育臨床技術を修得し、子どもの最善の利益と地域の子育て支援にあたることのできる。(2) 汎用的技能 保育に関わる職業生活や社会生活において、必要な情報を収集・整理し相互に関連づけながら、自分の考えを適切に表現できる。(3) 態度・志向性 保育者として、子どもと子育てにやさしい社会づくりの責務を理解し、地域社会においてグローバル的な視点に立ち、リーダーシップを発揮することのできる。(4) 創造的思考力 保育に関する専門的知識と保育臨床技術等を総合的に活用し、主体的、創造的に問題を解決することのできる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/gakusoku/310401_gakusoku.pdf">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/gakusoku/310401_gakusoku.pdf</a> 及び学生便覧)</p>
<p>(概要)</p> <p>授業科目は、関連科目と専門科目に区分している。専攻科保育臨床専攻の教育課程の編成・実施方針は、(1) 専攻科の専門的基礎を養うための関連科目を設置する。(2) 保育・子育て支援に関する高度な専門的知識及び技能を習得するための「教育学・教育心理学」、「教科教育」、「幼児教育・保育」、「特別支援教育」に関する講義・演習科目を設置する。(3) 高度な保育の臨床的実践力を養うための実習科目を設置する。(4) 保育研究者としての素養を養うための特別研究を設置すると定めている。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/admission-policy">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/admission-policy</a>)</p>

<p>(概要)</p> <p>面接（志望理由書に基づく）と小論文を通し、①保育に関する基礎的知識・技能の修得、②自らの課題意識に基づき、主体的に研究を行う意欲・能力、③自らの将来の目標に対する自己認識の3つを重視して入学者の選抜を行う。</p>
--

<p>学部等名 専攻科服飾美術専攻</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：<a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/rinen">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/rinen</a>）</p>
---

<p>(概要)</p> <p>生活者と生活者、生活者と地域社会といった『関係性を創造するデザイン力』を重要な柱とした教育を行い、デザインを機軸にして物事を考え、学びを地域社会及び産業に活かすことができる、意欲ある人材を育成する。</p>
--

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：<a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/diploma-policy">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/diploma-policy</a>）</p>
--

<p>(概要)</p> <p>学生は2年以上在学し、必修科目及び選択科目併せて62単位以上を修得しなければならない。</p> <p>専攻科ディプロマ・ポリシー</p> <p>学士の学位は、専攻科に2年以上在学し、学則に定める所定の授業科目を履修して、基準となる単位数を取得して本学専攻科を修了した者が、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格することによって授与される。</p> <p>服飾美術専攻ディプロマ・ポリシー</p> <p>服飾美術専攻は2年制の専攻科である。大学改革支援・学位授与機構に学位申請を行い、試験に合格することで学士号（家政学）を得ることができる。デザインを機軸にして物事を考え、学びを地域社会および産業に活かす能力を身につけることができる。</p>
---

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：学則 <a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/gakusoku/310401_gakusoku.pdf">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/gakusoku/310401_gakusoku.pdf</a> 及び学生便覧）</p>
--

<p>(概要)</p> <p>授業科目は、関連科目と専門科目に区分している。専攻科服飾美術専攻の教育課程の編成・実施方針は、服飾美術専攻は、社会構造の変化に即応し、生活者と生活者、あるいは生活者と地域社会といった「関係性を創造するデザイン力」を重要な柱とした教育を行っている。地域社会に貢献できる人材育成の実現をめざしたカリキュラムを構成している。2年間の学修のまとめとして特別研究（学士論文と作品）に取り組み、その成果を他者にわかりやすく伝えることができるように指導する。</p>
---

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：<a href="http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/admission-policy">http://www.kurashiki-cu.ac.jp/nyusi/admission-policy</a>）</p>
--

<p>(概要)</p> <p>地域社会における職業人の育成、さまざまな産業のための人材育成を実現するために、①ファッション・ビジネス・造形デザインの3分野に対し、科学的な思考や分析を実践に生かしながら、より高度な知識と技能の修得、②地域社会の発展への貢献、③自らの感性および人間性を豊かに育む能力などを重視して選抜を行う。</p>
---

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : <http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/images/hyouka/tandaikisodata.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織 の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
保育	—	4人	4人	3人	0人	0人	11人
服美	—	2人	6人	2人	1人	0人	11人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			26人				26人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://sites.google.com/a/m.kurashiki-cu.ac.jp/kyoin_gyouseki/">https://sites.google.com/a/m.kurashiki-cu.ac.jp/kyoin_gyouseki/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育	50人	56人	112%	100人	107人	107%	0人	0人
服美	50人	49人	98%	100人	108人	108%	0人	0人
合計	100人	105人	105%	200人	215人	107.5%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育学科	53人 (100%)	7人 (13%)	46人 (87%)	0人 (0%)
服飾美術学科	54人 (100%)	5人 (9%)	46人 (85%)	3人 (6%)
専攻科保育臨 床専攻	4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
専攻科服飾美 術専攻	6人 (100%)	1人 (17%)	5人 (83%)	0人 (0%)
合計	117人 (100%)	13人 (11%)	101人 (86%)	3人 (3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

#### ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本科では基礎科目と専門科目，専攻科では関連科目と専門科目によって授業科目を構成している。授業は，学習内容に合わせて，講義，演習，実験，実習，見学など複数の教授方法を用いて行っている。</p> <p>授業計画書（シラバス）には，授業の主題・目標，授業の内容・進め方，実務経験を活かす内容，テキスト・教材，準備学習の具体的な方法，評価の方法・基準，履修上の注意などの項目を統一して設け，各授業担当教員は，全ての項目に記載している（実務経験を活かす内容については該当する教員のみ）。</p> <p>各科目担当教員は，授業計画書（シラバス）を作成する際，前年度の内容を確認するとともに，授業評価における課題を反映し，新年度の授業計画書（シラバス）として作成している。</p> <p>授業計画書（シラバス）は，11月末に学生部より各科目担当教員に作成の依頼がされる。授業計画書（シラバス）は，冊子として3月末頃に完成する。</p> <p>授業計画書（シラバス）は，年度当初のオリエンテーションにおいて全学生に冊子として配付され，学生は授業計画書（シラバス）を確認した上で授業を選択することができる。外部への情報公開として，大学ホームページに掲載されている。</p> <p>教員は初回授業にて，シラバスに基づいて履修生に授業計画書（シラバス）を説明している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>成績評価方法や評価基準は「倉敷市立短期大学学則」に定めており、厳格に運用している。この学則は、学生便覧に記載され、学生に明示している。成績評価の方法は、試験成績・レポート・作品・論文・プレゼンテーション・出席の状況により総合的に評価する。また、授業計画書(シラバス)にも、科目ごとに評価の方法・基準の項目を設け、具体的な成績評価を明示している。</p> <p>成績の分類と評価基準は、履修した科目の60点以上を合格点として、その科目の単位を与える。また、評価と得点は次のとおりである。A(100点～80点)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、D(59点以下)。</p> <p>学生全員分のGPAが算出され、学科ごとに、上位から下位までを表で確認することができる。GPAの算出は、前期は9月、後期は2月に行われている。</p> <p>各学科および専攻科において、2年以上在学し、所定の単位数を修得した学生に卒業を認定する。保育学科については75単位以上、服飾美術学科、専攻科保育臨床専攻、専攻科服飾美術専攻については、62単位以上を修得しなければならない。卒業及び修了を認定された学生は、「倉敷市立短期大学学則」、「倉敷市立短期大学学位規程」に基づき、短期大学士の学位を授与する。専攻科保育臨床専攻においては、大学改革支援・学位授与機構「学位規則第6条第1項の規定に基づく学士の学位の授与に係る特例に関する規則」に準じて学士(教育学)を授与する。専攻科服飾美術専攻においては、大学改革支援・学位授与機構「学位規則第6条第1項の規定に基づく学士の学位の授与に関する規則」に準じて学士(服飾美術学)を授与する。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	保育学科	75単位	有・無	単位
	服飾美術学科	62単位	有・無	単位
	専攻科保育臨床専攻	62単位	有・無	単位
	専攻科服飾美術専攻	62単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/nenpou>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	保育学科	390,000 円	市内 112,800 円 市外 169,200 円	173,430 円	
	服飾美術学科	390,000 円	市内 112,800 円 市外 169,200 円	91,430 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>修学支援の組織体制は、教員の組織である教務委員会や学生生活委員会と学生部が責任主体となり、課題に応じて連携しながら行っている。各学科及び専攻科では、前・後期の開始時に学科別オリエンテーションが実施されている。入学時に学生部によって「連絡・通学届」や履修手続き（履修登録シートの記入方法、履修登録の手順等）についての説明を行う。さらに、学生部教職員、学科長及び担任によって学生便覧・シラバスを用いた教育目的、教育計画の説明を行っている。在学生に対しても学生便覧や配付資料を用いた授業計画書（シラバス）・履修内容の説明を行っている。全学生の履修・休学や学業の遅れなどの状況について、教務委員会を中心に学生の情報を短期間に収集し把握に努めている。ケースによっては家庭と連携し、科目担当者や担任らと連絡を取り合い修学や生活などを必要に応じて早期から対応している。保育学科では、随時教員が、学生との面談を心掛け、在学生に対してきめ細かい指導を行っている。服飾美術学科では、教員が修学における質問や相談を受ける「オフィスアワー」を実施している。各学科・専攻科すべての授業で、学生に「授業評価アンケート」を行い、学生の意見に耳を傾け、改善すべき点は見直す体制を整えている。障がいのある学生の支援に関しては、修学に支障が生じないように合理的配慮を行っている。全ての学生が、充実した大学生活が送れるようにケースに応じた支援の方法を大学と対象学生との合意形成の下に検討している。したがって、相談も随時受け付ける体制を整えるように準備している。障がいのある学生への対応については、障がい者用のトイレやエレベーターを設置している。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生の進路支援は、学生部およびキャリア支援委員会が中心となり、全教員、中でも学科長やクラス担任、ゼミ担当と連携して就職や進学等の進路選択に関して組織的に支援している。大学に届いた求人票は、学生部やキャリア支援室から学科長や担任教員のところでも確認することができる。また、全教員で卒業生の就職先への卒後訪問を行って職場への適応状態など動向の把握につとめ、在学生への就職支援に活かすようにしている。キャリア支援としては、月に1回のハローワークジョブサポーターによる出張就職相談会をはじめ、エントリーシート の書き方、面接マナー、電話のかけ方、スーツの着こなし方、メイクアップなど年間を通じて多くの就活セミナーを実施しており、学生は誰でも何回でも参加できる。1年次には、「キャリアデザイン」という授業が開講されており、自己分析や職業研究をはじめ、就職活動の仕方なども授業として受講することができる。保育学科では、就職した卒業生を招いてホームカミング就職相談会を行い、先輩の話聞くことができる機会があったり、公務員対策講座や保育士・幼稚園教諭模擬試験等も実施したりしている。2011年度より、保育士の確保・就職支援のために倉敷市と協力して倉敷市民間保育所ガイダンスを開催している。また、毎年行われている岡山県私立幼稚園連盟の説明会にも、専任教員が引率し、学生の参加を精力的に促している。その他にも、民間幼稚園ガイダンスへの参加など、積極的に働きかけを行っている。服飾美術学科では、地元のアパレル企業の協力をうけ、企</p>



業でインターンシップを行いながら単位認定を受けることができる「アパレル企業実習」を開講している。また就職試験に用いられるSPIの模擬試験なども実施している。その他、履歴書の添削や面接指導、個別相談なども随時行っている。これらの活動を通じて、学生本人が、自分で自分の進路を選択できるよう、大学内で組織間の有機的連携を図り、支援を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生生活支援では、学生部及び学生生活委員会が中心となり心身の健康保持・増進及び安全・衛生への配慮とその適切性保持を目標に、生活全体の維持、改善について組織的に実施している。生活支援状況の検証、および改善については隔年ごとに学生生活の満足度調査を行っている。学生の個別相談に応じるための体制整備として、養護教諭を決まった時間常在させ、学生らの心身の健康問題について対応している。養護教諭にはキャンパスヘルスに関する研修会などに参加し、学生特有の問題に対応できるように相談能力の向上に努めている。健康管理面でも、養護教諭が中心となって学校医と密に連携しながら、感染症の流行動向や予防接種といった集団の健康管理も積極的に行っている。学生の個別相談に応じるための体制整備として、担任やゼミ担当教員と少人数による対面的な指導機会に相談できるようにし、場合によっては専門機関を紹介するように配慮している。安全面においては、学生に防災や防犯に関する情報を提供するため安全マップを作成したり、地元の警察署との情報交換を行ったりするなどしてアップデートな情報を入手、注意喚起を促すように努めている。また、定期的に避難訓練を実施し、防災意識を高めている。ハラスメント防止策を含めた人権保護のための措置とその適切性については、人権・ハラスメント委員会を設け、「人権・ハラスメント委員会規程」および「ハラスメント防止等に関する規程」に基づき、学内の生活安全に努めている。この中で、学生の個別相談に迅速に応じるための体制整備として、各学科および学生部に人権相談委員を配置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.kurashiki-cu.ac.jp/info/nenpou>